

連結中期経営計画とCSRの推進

コスモ石油グループでは、2008年度より開始した「第3次連結中期経営計画」および「第2次連結中期CSR計画」に取り組み、収益基盤の強化と社会的責任の果たせる経営を推進していきます。

第3次連結中期経営計画：2008年度活動のハイライト



2008年7月
堺製油所重質油分解装置群の建設起式を開催。

ブロック11
カタール
カタール石油開発

2008年10月
カタール国ブロック11鉱区探鉱開発事業への参加に関する契約を調印。写真は現在操業中のカタール石油開発(株)のプラットフォーム。

第2次連結中期CSR計画の2008年度の取り組み状況

重点項目	主な目標
グループ連結でのCSR推進体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実践度向上のための組織体制 CSR推進委員会で活動を統括し、グループ全体の実践度を向上 ■ 企業行動指針および社内制度の再整備と浸透 <ul style="list-style-type: none"> ・企業行動指針の認識度・理解度向上 ・リスク/内部統制への対応
安全管理体制の構築 (第2次連結中期安全計画) ⇒詳細はP.23を参照	<ul style="list-style-type: none"> ■ 部門別目標 <ul style="list-style-type: none"> A) 製造部門：不安全不具合をベース年比90%以上削減(2010年目標) B) 製造/基地部門(潤滑油・ガス)：危険物・可燃性ガスの漏えい削減 C) 物流部門：混油・漏油・交通事故の削減、労働災害ゼロの継続など D) 販売・その他部門：SS工事における労働災害ゼロの継続など
人権/人事施策の充実 (第2次連結中期人権/人事計画) ⇒詳細はP.25を参照	<ul style="list-style-type: none"> ■ グループ共通テーマ <ul style="list-style-type: none"> ① 参画意識の向上 ② 多様性尊重、機会均等 ③ 人材の育成、能力開発 ④ 心身のヘルスケア増進 ⑤ 職場と家庭の両立支援 ⑥ 雇用の安定・再就職支援
環境対応策の推進 (第3次連結中期環境計画) ⇒詳細はP.27を参照	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境効率の改善 <ul style="list-style-type: none"> ① 地球温暖化の対策 ② 環境負荷の最小化 ■ 環境経営の強化 <ul style="list-style-type: none"> ③ 環境配慮型の事業展開と技術開発 ④ 環境情報共有化と情報発信
ステークホルダーとの関係強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会・環境貢献活動におけるコミュニケーション強化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会における社会・環境貢献活動の強化 ・コスモ石油エコカード基金の参加型プロジェクトの強化 ■ ステークホルダー・コミュニケーションの充実 双方向コミュニケーションの充実



2008年11月

アブダビでのビーム・ダウン式集光太陽熱実証実験プラント建設を発注(完成予定：2009年12月)。写真は東京工業大学に試験的に設置された太陽光採光装置。



2009年2月

全国の優秀マネージャーが一堂に会し、NV0(ゼロ)チャレンジ2008表彰式を開催。



2008年4月

ヒュンダイオイルバンク(株)と石油事業包括協力覚書締結。

2009年6月

パラキシレン事業協業に向けた基本合意書を同社と締結。

写真は同社の大山(デサン)製油所。



詳細情報 ● 第3次連結中期経営計画

<http://www.cosmo-oil.co.jp/ir/mediumterm/index.html>

※達成度：○達成 △一部達成 ×進捗なし

2008年度の活動総括/主な実績	総合評価	2009年度の目標
<ul style="list-style-type: none"> CSR推進委員会において2008年度CSR活動の実績および課題を確認するとともに、2009年度活動方針を決定。 企業行動指針を全面改訂し、浸透ツール(冊子)を作成・配布。また、モニタリングを実施し、社員の企業行動指針に対する認識度・理解度が改善したことを確認。このほか、財務報告に係る内部統制システムを構築。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 企業行動指針/社内マニュアル等の認識・理解度と実用性のさらなる向上をめざし、部門別のコミュニケーションツール作成、教育研修の強化に取り組みます。 コンプライアンスリスクへの対応のため、ライン長などへの教育・研修を実施します。
<ul style="list-style-type: none"> 石油コンビナート等災害防止法に定める異常現象が減少 ガス部門における事故・トラブル：0件 油槽所における労働災害、火災/漏えい事故：0件 陸上輸送における混油事故：4件 海上輸送における漏えい・座礁事故：0件 販売部門および中央研究所における労働災害：0件 	△	<p>「基本を守り、自らの安全を確保する」ことを全社の安全目標として、各部門においてさらなる安全管理活動に取り組みます。また、製油所においては「安全再強化宣言」の徹底遵守を図ります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> プリセット休暇の活用などにより、日勤者の有給休暇取得はベース年比増加。 育児休暇取得者8名(女性取得率100%)。 全社平均の総労働時間は1,909時間となり目標を超過(+9時間)。 	△	<p>2008年度の取り組み事項を踏襲し、社員への人事施策・諸規程の浸透と人権意識の向上、ワーク・ライフ・バランスの推進、関係会社の実情に合わせた自主的な活動の推進などに取り組みます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 4製油所のエネルギー消費原単位の削減、コピー用紙・社有車燃料の削減、産業廃棄物の削減については目標未達。 個人版チーム・マイナス6%の参加人数が1,233名増加、一人あたりのCO₂削減量は1.066kg/日となり目標を達成。 	△	<ul style="list-style-type: none"> 4製油所のエネルギー消費原単位の削減、省エネルギー・省資源の推進や、産業廃棄物の削減などについて、各部門と連携し取り組みます。 新規環境事業のさらなる進展ならびに事業化、既存案件の性能向上に向けた研究開発に取り組みます。
<ul style="list-style-type: none"> クリーン・キャンペーンの参加者合計16,181名、クリスマスカードプロジェクトのカード枚数1,775枚(ともに前年実績から大幅に増加)。また、エコカード基金の新プロジェクトを公募し、3プロジェクトの支援を開始。 個人株主を対象としたアンケートを実施し約6,000名からの回答を集集。このほか、「ココロも満タンに」宣言」の活動において、CSR診断のポイントが改善。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 各々のコミュニケーション活動の一層の充実を図ります。また、エコカード基金においてはエコカード会員の差別化・参加型プログラムを企画し、社員にも参加機会を提供します。 ステークホルダーダイアログを実施するなど、ステークホルダーの期待や意見をCSR経営に反映させます。さらにWEBをはじめ、さまざまな媒体を通じてCSR活動に関する情報発信を継続します。